

令和元年度第2回京丹後市いじめ防止対策等専門委員会 会議録

1 開催日時：令和2年3月14日（土）午後1時30分～午後2時50分

2 開催場所：京丹後市役所大宮庁舎 4階 第2・3会議室

3 出席者：京丹後市いじめ防止対策等専門委員会

柴田 長生（京都文教大学臨床心理学部教育福祉心理学科教授）

竹村 洋子（医療法人竹村診療所臨床心理士）

竺沙 知章（京都教育大学大学院連合教職実践研究科教授）

（欠席者）

神子 貴士（弁護士）

藤原 大輔（医療法人ふじわらクリニック理事長）

事務局：吉岡 喜代和（京丹後市教育委員会教育長）

横島 勝則（京丹後市教育委員会事務局教育次長）

上田 隆嗣（京丹後市教育委員会事務局教育理事）

小石原 敦（京丹後市教育委員会事務局教育理事兼総括指導主事）

松本 晃治（京丹後市教育委員会事務局学校教育課課長）

西原あおみ（京丹後市教育委員会事務局学校教育課主幹兼指導主事）

山副ゆかり（京丹後市教育委員会事務局学校教育課学務・指導係長）

片柳 弘司（京丹後市教育委員会事務局学校教育課主幹臨床心理士）

4 議 事

（1）京丹後市のいじめの現状

（2）令和元年度いじめの防止等のための取組結果

（3）いじめに係る事象報告

5 公開又は非公開の別 公開

《議事経緯》

学校教育課長：定刻となりましたので、ただ今から「令和元年度第2回京丹後市いじめ防止対策等専門委員会」を始めさせていただきます。私は、教育委員会事務局 学校教育課長の松本と申します。どうぞよろしく願いいたします。

専門委員の先生方にはこの間、いじめに係る事象についてご対応いただき、誠にありがとうございます。先生方からいただきましたご意見、アドバイスを踏まえまして、この間対応してきた経過については、のちほど報告させていただきたいと思っております。また、他の事例も用意をしております。限られた時間の中でご審議いただくこととなりますが、どうぞよろしく願い申し上げます。

本日は、ご都合により、神子先生と藤原先生より欠席の連絡を承っておりますので、ご報告申し上げます。

これからご審議いただく前に、2点お伝えをさせていただきたいと思っております。

1点目です。今回の会議より、議事録作成の効率化を図るために、音声データをデータ化するマイクシステムを用意しています。ご発言いただくときにはマイクを使っていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

2点目です。お帰りの際の公共交通の関係から、2時50分には閉会とさせていただきますと考えていますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

それでは、委員会の開会にあたりまして、吉岡教育長がご挨拶を申し上げます。

教 育 長：皆さんこんにちは。先生方には、年度末でもあり、大変お忙しい中、京丹後市いじめ防止対策等専門委員会にご出席いただき、心からお礼を申し上げます。

全国でコロナウイルスにより大変なことになっていまして、この影響を受け、本市でも3月3日から昨日まで、小中学校の臨時休業を行ったところで

すが、この間の状況を踏まえ、期間を24日まで延長しているところです。

そのような中ですが、昨日は市内の中学校の卒業式を、参加生徒も卒業生のみとする縮小した形で実施をしました。私もこの隣にあります大宮中学校の方へ出席させていただきました。やはり少し寂しくも感じましたが、卒業生は全員出席し、厳粛な雰囲気の中で行われ、良い卒業式だったと思っています。

また、高校入試の中期選抜の結果発表を月曜日に控えていまして、子どもたちが今までに経験がないような異常な事態とも言われる社会状況にも負けず、学習・クラブ活動等に頑張ってきたことをもとに、自分の夢に向かって進んでいってくれることを願っているところです。

この専門員会は、毎年2回の会議を開催し、本市の状況や、本市が取り組んでいる事業等について、報告させていただくとともに、ご指導・ご助言をいただいているところですが、本日は、今年度2回目の会議ということになります。

のちほど、本年度の本市の2回目のいじめ調査の結果を報告させていただきますが、例年と同様に多くの件数が上がっていきまして、見えないところで起こっていないか、少し間違えば子どもの人権を傷つけるだけでなく、重大事象に発展する危険性があることなどを真剣に捉え、常に早期発見・早期対応等に努力しなければならないと取り組んでいる最中だったのですが、先ほどもありましたように、中学校の教員による、いじめに対する不適切な指導があり、先生方にもご相談を申し上げました。ご指導もいただき、教育委員会事務局が学校を指導しながら取り組みを進めていますが、該当の生徒、保護者の最終の理解を得るところまではまだ至っていないため、引き続き対応もしていきたいと思っています。

また、他の中学校でも、いじめも関係し登校できていない生徒がいますので、内容を報告させていただき、ご意見等もいただきたいと考えています。

その他にも、教員の配慮不足の指導もあり、生徒や保護者の信頼を損なっている事案もあります。生徒指導や保護者対応の面で、どうしても力が弱い教員もいますので、教職員への指導と、学校として組織的に対応することを指示させていただいているところです。

本日は、いじめの現状、防止と取組、事象報告等をさせていただき、ご意見をいただきたいと思いますと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

学校教育課長：次に、柴田委員長から、開会のご挨拶をよろしくお願いいたします。

柴田委員長：ご苦労様です。世の中が大変な事態で先行き見えない中で大変ですが、それに関わりなく子どもには様々なことが起こります。

この間、初めて我々が試されるような事象も発生したということで、そのあたりでコロナと関係なく、我々がどのようなバックアップができるかということで、短時間ではありますが、ぜひ貴重なご意見、お知恵を拝借したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

学校教育課長：それでは、柴田委員長、議事進行をよろしくお願いいたします。

柴田委員長：議事がスムーズに進みますようご協力のほど、よろしくお願いいたします。

まず、次第2の確認事項について、事務局からお願いします。

事務局説明

- ・確認事項（1）京丹後市いじめ防止対策等専門委員会に関する条例第6条の確認
- ・確認事項（2）配布資料の確認
- ・確認事項（3）令和元年度第1回専門委員会会議録の確認

柴田委員長：ただ今の事務局の確認事項について、ご質問等はありませんか。

柴田委員長：無いようですので、続いて次第3の議事に入りたいと思います。

議事の進行については、まず、議事（1）、（2）について事務局から報告いただいたのち、一度質疑をとりしたいと思います。その後、議事（3）のいじめに係る事象報告に入りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは、議事（1）「京丹後市のいじめの現状」より順に、事務局から説明をお願いします。

事務局説明

- ・議事（1）京丹後市のいじめの現状
- ・議事（2）令和元年度いじめの防止等のための取組結果

柴田委員長：ありがとうございました。それでは、以上の2件について、何かご意見・ご質問等がありますでしょうか。

アンケートのこととか、もしお気づきの点がありましたらお願いします。

竹村先生いかがですか。

竹村委員：中学校で、10件中9件が一つの中学校で発生しているのはどういうことなのか、ちょっと気がかりなことなだと思いました。

事務局：Aの要指導のところですね。前回もお話ししましたとおり、その学校の中の特別支援の生徒に関わりまして、その中でのトラブル等が上がってきています。

柴田委員長：これは後ほどのケースとは関連しない話ですね。

事務局：はい。

柴田委員長：他に、いかがでしょうか。

今回のことでいうと、我々の課題としたら、学校全体での認識の向上とか、学級経営とか、それぞれの担任に任せるのではなくて、学校の教師全体の認識をシステムティックにどのような形で深めるかという、おそらく前回の事例もそのようなことが、かなり長い時系列を含んで課題になっていたと思いますので、このところについて現状を踏まえて、どうシステムティックに対応していくかが喫緊の課題と思います。私はその一点に尽きるのではないかと感じました。

竺沙先生、何かありませんか。

竺沙委員：今おっしゃったことにも関わると思うのですが、学校がこういう調査をどういうふうに位置づけて一年間の活動を考えておられるかによると思うのですが、いろいろな事例をご紹介いただいた中でも、この調査に上がっていないようなところで起こっているわけですね。そういうことも含めて学校側がこのアンケート調査の結果をしっかりと受け止めて、これだけではないはずだし、これがどういう意味があるのだろうということを考えられるようにしていくということだと思うので、アンケートを取って数字が出てきたので、それで実態把握が終わりということではないはずだし、また、数字そのものの読み解き方を含めての認識を深めるということを毎年重ねていかないとい

けないのではないかと、この間の事例報告を聞いていて一層そのように感じています。

柴田委員長：ルーティーンでやるのではなくて、この結果は「出た」ってなるのですが、「やばい」とかね「今これや」とかいうような、そういう動きがないと、おそらくは起こったときには、どうしようもない状況になりかねない。

竺沙先生がおっしゃったようなことのリアリティというのはどうでしょう。やはりそこも含めた課題でしょうか。

事務局：アンケートはアンケート、問題事象は問題事象と分けるのではなく、そこを関連づけながら、その数値の後ろに見える子どもの実態把握をさらにしていくことは必要だと考えています。

柴田委員長：そのことができれば、1校に9件集中したとしても、すでに把握し、対応しているとの了解があれば良いと思いますが、そこが大切なところですよ。

他に、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

はい。ではそういうまとめにして、以上の2つの議事については、ここまでにしたいと思います。ありがとうございました。

続きまして、(3)のいじめに係る事象報告に入りたいと思いますが、本件につきましては個別の内容となりますので、まずこの議事についてのみですが非公開とさせていただいてよろしいでしょうか。

はい。では非公開ということで、事務局から報告をいただきます。

事務局：個別事象の内容につき 非公開

柴田委員長：ここから公開とします。

とくにその他、協議をすることがございますか。

無いようでしたら、今後のことについて、事務局よりよろしく申し上げます。

学校教育課長：失礼します。改めてスケジュールについては、時間もありますので、また9月、今年任期を迎えますので、また会議等の日程の調整を改めて事務局から

させていただきますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

スケジュールは以上です。

柴田委員長：ありがとうございます。それでは事務局にお返しします。

学校教育課長：本日はどうもありがとうございました。大変窮屈な会議になって申し訳なかったですけども、大変貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。

柴田委員長：ありがとうございます。色々なことがありますが、ぜひ今後ともよろしく願いいたします。

学校教育課長：これで終了させていただきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。お気をつけてお帰りください。